

徳之島地域流域治水プロジェクト

【とりまとめ（案）】※個別対策

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

徳之島地域流域治水協議会

徳之島地域流域治水プロジェクト

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

徳之島地域流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

河川整備箇所（河道掘削・樹木伐採）【鹿児島県徳之島事務所建設課・徳之島町・伊仙町・天城町】

○河道に堆積した土砂の掘削により，流下能力の向上を図る。



二級河川 港川（天城町）着工前



二級河川 港川（天城町）完成

※二級河川は県対応，準用河川及び普通河川は町対応

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	河道掘削，樹木伐採 等	鹿児島県，徳之島町，伊仙町，天城町			

徳之島地域流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

いのちと暮らしを守る土砂災害対策の推進【鹿児島県砂防課】

○社会・活動を支える地域の基礎的なインフラの集中保全

・ハード施設により確実に「いのち」を守ることに加え、物流ネットワークや電力、水道、通信、学校、病院など「暮らし」に直結する基礎的なインフラを集中的に保全

○土砂・洪水氾濫対策の推進

・上流域から流出した多量の土砂が谷出口より下流の河道に堆積し、河床上昇・河道埋塞により引き起こされる土砂、泥水及び流木の氾濫発生を防止



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	土砂災害対策	いのちと暮らしを守る土砂災害対策の推進	鹿児島県	→		

徳之島地域流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

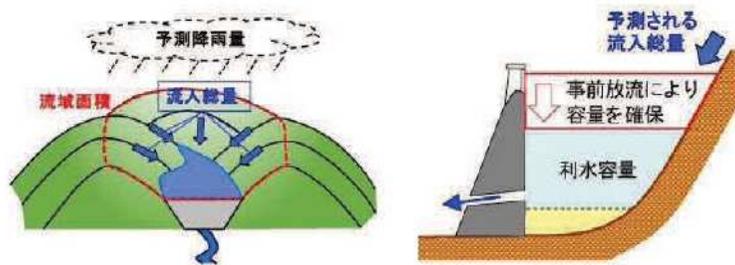
利水ダム（徳之島ダム等）における事前放流の実施 【国，鹿児島県，徳之島町，伊仙町，天城町】

○ 令和2年8月31日に，河川管理者，ダム所有者及びダム管理者の3者で締結した秋利神川水系治水協定等に基づき，事前放流を実施。

〈名 称〉	〈河川管理者〉	〈ダム所有者〉	〈ダム管理者〉
徳之島ダム	鹿児島県	国	天城町
南部ダム	鹿児島県	鹿児島県	天城町
西部ダム	鹿児島県	鹿児島県	伊仙町
東部ダム	鹿児島県	鹿児島県	伊仙町
神嶺ダム	鹿児島県	鹿児島県	徳之島町
母間ダム	鹿児島県	鹿児島県	徳之島町



基準雨量以上の降雨量が予測された場合
事前放流を行い，洪水時に対応可能な容量
を確保。



○徳之島ダム	有効貯水量V=730万m ³	うち洪水調節可能容量V=8.5万m ³
○南部ダム	有効貯水量V=33.9万m ³	うち洪水調節可能容量V=2.3万m ³
○西部ダム	有効貯水量V=15.4万m ³	うち洪水調節可能容量V=2.5万m ³
○東部ダム	有効貯水量V=13.0万m ³	うち洪水調節可能容量V=1.7万m ³
○神嶺ダム	有効貯水量V=67.8万m ³	うち洪水調節可能容量V=3.0万m ³
○母間ダム	有効貯水量V=11.5万m ³	うち洪水調節可能容量V=2.5万m ³

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工 程		
				短 期	中 期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	流出抑制対策	利水ダム（徳之島ダム等）における事前放流等の実施	国，鹿児島県，徳之島町，伊仙町，天城町			

徳之島地域流域治水プロジェクト

被害対象を減少させるための対策

徳之島地域流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

いのちとくらしを守る土砂災害対策の推進（ソフト対策）【鹿児島県】

○地域の防災力を高める警戒避難体制の強化

- ・土砂災害警戒区域等の指定を進め、認知度向上を図る。
- ・リスク情報をより分かりやすく伝えることで地域住民の理解を深めるとともに、自助・共助を強力に支援することで、地域全体の防災力を向上

土砂災害警戒区域等の指定

土砂災害警戒区域 : 23,110箇所
 (徳之島 292箇所)
 土砂災害特別警戒区域 : 19,545箇所
 (徳之島 272箇所)
 (令和4年3月末時点)

土砂災害警戒区域、雨量、土砂災害警戒情報などのリスク情報の提供

鹿児島県土砂災害警戒区域等マップ(例)



鹿児島県河川砂防情報システム



土砂災害防災訓練

土砂災害に関する出前講座



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害対象を減少させるための対策	地域の防災力を高める警戒避難体制の強化	いのちとくらしを守る土砂災害対策の推進	鹿児島県	▶		

徳之島地域流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

災害リスクを考慮した立地適正化計画の策定【徳之島町】

○頻発化・激甚化する災害に対して、災害ハザードエリアにおける、開発抑制、立地適正化強化など、安心なまちづくりのための総合的な対策を講じる。

・災害リスクを考慮した立地適正化計画の策定

(立地適正化計画)

- ・都市全体の観点から、居住機能や福祉・医療・商業等の都市機能の立地、公共交通の充実に関する包括的なマスタープランを作成。
- ・民間の都市機能への投資や居住を効果的に誘導するための土俵づくり

(策定内容)

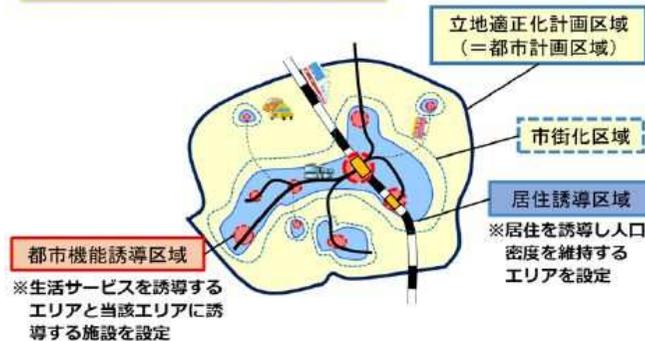
- ・居住機能を誘導する「居住誘導区域」や、都市機能（福祉・医療・商業等）を誘導する「都市機能誘導区域」等を定める。



(防災指針)

- ・災害リスクを踏まえた課題を抽出し、都市の防災に関する機能の確保のため「防災指針」を定める。

立地適正化計画制度のイメージ図



◆立地適正化計画の策定及び土地利用の規制・誘導

立地適正化計画の居住誘導区域内で行う防災対策・安全確保策を定める。

「防災指針」の作成

- ・避難路，防災公園等の避難地
- ・避難施設等の整備
- ・警戒避難体制の確保

【都市再生特別措置法】

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害対象を減少させるための対策	土地利用・住まい方の工夫	災害リスクを考慮した立地適正化計画の策定及び土地利用の誘導等	徳之島町	▶		

徳之島地域流域治水プロジェクト

被害の軽減， 早期復旧・復興のための対策

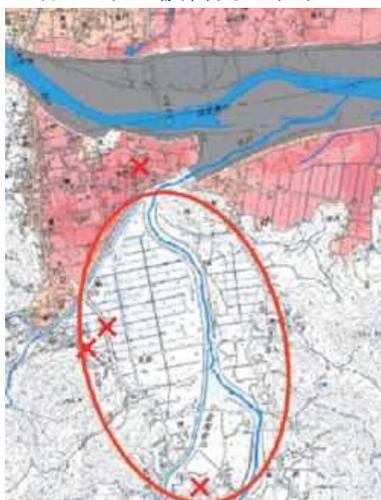
徳之島地域流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

洪水浸水想定区域図の作成・公表【鹿児島県】

- 令和3年の水防法の改正に伴い、洪水浸水想定区域の設定が洪水予報河川や水位周知河川等だけでなく、住家等の防御対象のあるすべての河川に拡大された。
- 新たに設定が可能となった河川について、洪水浸水想定区域図を作成・公表し、水害リスク情報空白域の解消を図る。

洪水浸水想定区域外で浸水被害があった事例
(仙台河川国道事務所)
赤×印は被害発生位置



洪水浸水想定区域の設定がなく、水害リスクが示されていないエリア（水害リスク情報空白域）



洪水浸水想定区域図のイメージ

県HPで公表予定

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土地のリスク情報の充実	洪水浸水想定区域図の作成・公表	鹿児島県			▶

徳之島地域流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

水位計・監視カメラの設置、防災情報の提供【鹿児島県、気象庁】

- 各機関において、防災情報の提供を目的に、水位計・監視カメラ・雨量計を設置しているところである。
下図のように徳之島地域その他流域内の施設位置を示し、自分が住んでいる地区にはどのような観測機器があるか、そして、自分の身を守るための防災情報として何の情報取得できるか、自らの自助・共助へ繋げるよう、防災意識の更なる高揚を図る。
- また、洪水時における氾濫発生の可能性が高い箇所等の危険箇所や、地先レベルの水位・状況を把握することを目的に、危機管理型水位計・簡易型カメラも設置しており、今後、必要に応じて、追加設置を行っていく。

徳之島地域における
水位計・監視カメラ・雨量計の位置図

徳之島地域その他水系内に設置されている各施設数 (R4.3末時点)

地域	管理者	水位計		カメラ	雨量計
		水位局	危機管理型		
徳之島管内	県	—	4	1	3
	気象庁	—	—	—	—
	合計	—	4	1	3



簡易型河川監視カメラ(大瀬川)



危機管理型水位計(真瀬名川)



危機管理型水位計(亀徳川)

凡例

- 水位計, カメラ
- ▲ 水位計
- △ 危機管理型水位計
- 雨量計(県)
- 雨量計(気象庁)

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減, 早期復旧・復興のための対策	防災情報, 避難体制の検討・連携強化	水位計・監視カメラの設置, 防災情報の提供	鹿児島県, 気象庁			

徳之島地域流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

鹿児島県水害リスクマップの運用【鹿児島県】

- 鹿児島県で把握・公表している水害リスク情報（洪水浸水想定区域や浸水実績）について、地図情報上に集約化し、「鹿児島県水害リスクマップ」として県ホームページに公表（R3.2月末より運用）



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災情報、避難体制の検討・連携強化	鹿児島県水害リスクマップの運用	関係市町、鹿児島県			

徳之島地域流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

出前講座・防災学習の実施【気象庁の事例】

e ラーニング教材「大雨の時にどう逃げる」

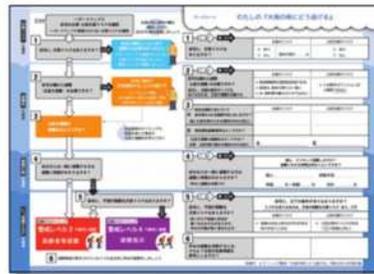
<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/knownow/jma-el/dounigeru.html>



動画とワークシートで基本的な知識ととるべき行動を学びます



動画教材



ワークシート

「自らの命は自らが守る」
基本の知識を身に付ける

約17分

大雨の時に...
「どこが危ない？」がわかる
「どこに逃げる？」がわかる
「何をしたらいい？」がわかる
「いつ避難したらいい？」がわかる



動画教材
を視聴

いざというときのために
ひとり一人の「避難行動」を整理

約30分

自分の...
「災害リスク」がわかる
「避難場所」がわかる
「避難にかかる時間」がわかる
「避難のタイミング」がわかる



ワークシート
に記入

別の防災研修、学習の前にこれだけやる！

「避難」の知識がある方は、ここから！

1時間の研修にピッタリ！



好きな時間
ペースで学べる

教材は、すべて気象庁
ホームページで公開しています

感染症
拡大防止

他人と接触せず
学べる教材です

専門家や経験者が
いなくても大丈夫

学習の進め方を解説する資料に
沿って進められます

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災学習	出前講座・防災学習の実施	関係機関			

徳之島地域流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

防災ワークショップの実施【気象庁の事例】



ワークショップ概要

時間 1時間30分～2時間程度
 対象 小学校高学年から大人まで
 定員 10人～50人程度

基本形

130分

イントロダクション 5分

A レクチャー 20分

休憩 10分

グループワーク 60分

ステップ①

B ステップ②

ステップ③

C 発表・まとめ 35分

- 防災意識を高め、実際の行動につなげていただくため、自らの問題として日頃からの備えや適時適切な防災気象情報の入手とその情報を活用した**安全行動を事前にシミュレートする**能動的な学習方法。
- 参加者アンケートの結果からは、**ワークショップに参加する前後で安全知識や防災対応力が大きく向上することが認められています。**



少人数のグループに分かれ、様々な意見をまとめて対応を考えるグループワーク

質問を交えながら進めるわかり易い解説

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災学習	防災ワークショップの実施	関係機関			

徳之島地域流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

地域の防災力向上【鹿児島県、関係町】

地域の防災リーダー育成

地域防災リーダー養成講座の様子



講義（自主防災組織）



AEDを使用した心肺蘇生法訓練

モデル地区による地区防災計画作成



防災さんぽ
(まち歩き)



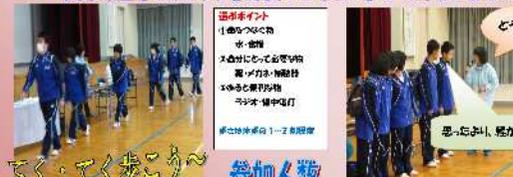
↑
DIG（災害
図上訓練）の
様子

防災研修センターによる出前講座

非常持出品について考えよう！！



異なる重さのリュックを背負ってもらいありがとうございました



参加人数
240人

その他の取組

- ・MBCラジオ「防災ワンポイント」
- ・防災・お天気フェア
- ・防災啓発研修会 等

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	地域の防災力向上	・防災研修、出前講座等	鹿児島県、関係町	▶		

徳之島地域流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

地域の防災力向上【鹿児島県、関係町】

個別避難計画作成

- ・ 市町村においては、災害対策基本法に基づき、避難を支援するための避難行動要支援者名簿（以下「名簿」という。）の作成が義務づけられており、本県では、全市町村が作成済となっている。
- ・ 当該名簿については、本人の同意を得るなどし、市町村から消防機関や自主防災組織等へ提供できることとなっており、市町村において取り組んでいるところ。
- ・ また、市町村は、名簿情報に係る避難行動要支援者ごとに、個別避難計画を作成することとしており、令和4年4月1日現在の作成状況は、対象者全員が8団体、一部の対象者が31団体、未作成が4団体となっている。
- ・ 県では、引き続き、市町村に避難行動要支援者への対応に関する取組を紹介するなどして、名簿情報の提供や計画作成を促進してまいりたい。
- ・ これらを踏まえ、町の努力義務となっている個別避難計画の作成について、流域治水プロジェクトにおいても、あらゆる関係者と共に議論していく必要がある。

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工 程		
				短 期	中 期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	災害時における要配慮者への支援	・個別避難計画策定支援	関係町			